「掘ってくれるタチいないっすか?」

沖縄県の出会い系掲示板投稿文の計量的分析

金城克哉

要旨　本稿では沖縄地域の男性との出会いを求める男性が利用する出会い系掲示板の投稿文を言語学的視点から計量的に分析することを目的とする。無作為抽出によって得られた9,200のデータを分析した結果、(1) 投稿者の8割が20代と30代によって占められており、(2) 出会いの形態としては性的な接触を望むものが最も多いことがわかった。また、(3) 容姿その他への言及については体型に関する言及が最も多く、その内普通より大きい体型に関する語彙が発達していることが明らかとなった。(4) 表現の特徴としては願望を表す「たい」や「ほしい」を用いた表現が約4割を占め、受益表現では「〜てもらう」よりも「〜てくれる」という表現が多用されていることがわかった。

キーワード　言葉とセクシュアリティ、出会い系掲示板、計量分析

1 はじめに

本稿は男性同士の出会い系掲示板の投稿文をテキストマイニングの技法を用いて計量的に分析するものである◇1。従来、他者との出会いを求める個人広告 (personal ads) は雑誌や新聞への掲載が主流であったが、情報化社会の発展とともに個人の情報発信の手段が発達し、ゲイ・バイ・ストレートを問わず近年では個人広告専用のウェブサイトや電子掲示板 (BBS) が広く利用されるようになってきた◇2。日本では若年層の出会い系掲示板利用がニュースなどで取り上げられ、そのありかたが問題視されることはあるものの、出会い系掲示板自体を対象とした研究は限られており、さらに男性が男性と出会うための掲示板をとりあげた研究は管見ではほとんどない。また、セクシュアリティというものは人の (性的な) 欲望を抜きに語ることはできないが、そのような欲望がどのような言葉でいかに表現されるのかという点も十分に明らかになっているとは言えない。本研究ではこの投稿文の言語的な特徴を明らかにすることを目的とする。

本稿ではまず (1) 投稿文に多く用いられている語 (高頻度語) は何かを明らかにする。これによって、投稿文全体の内容の大まかな性格付けが可能となる。また、(2) 語AとBが、あるコンテクスト内において同時に出現することを指して「AとBは共起関係にある」というが、本論では (1) で得られた高頻度語をもとに、頻出名詞36語の共起関係を示す。さらに、(3) 高頻出語の上位にあげられる「人」という語とそれがどのような語と結びついて用いられるのかというコロケーションについても分析をする。この (1) ～ (3) の段階は語の出現と語同士の結びつきのレベルの分析であり、これはテキストマイニング用のソフトウェアの活用により抽出できるものである。今回はこの段階からさらにコーディング (3-2を参照) によって (4) 出会い系掲示板に投稿される内容にはどのようなものがあるのかという内容分析を行い、出会いの型を抽出する。次に、内容にさらに踏み込み、(5) 先行研究で取り上げられている容姿その他への言及とその内容を明らかにする。また、(6) 語の頻度や共起関係のみでは明らかにならない点として、願望表現と間接要求表現を取り上げ、表現形式の特徴を探る。

2 先行研究とデータの特質

雑誌などに掲載される他者との出会いを求める個人広告 (personal ads) の分析は海外では社会学の分野で盛んに行われている。Deaux and Hanna (1984) は個人広告800件を分析し、男性は身体特徴に重きを置き、女性は心理的な側面を重視する傾向にあると述べている。また、同性愛者がセクシュアリティに関わる表現を多用するのに対し、異性愛者は収入や人種等多様な特徴に触れることが多いとしている。特に、男性同性愛者の個人広告では男性性が強調されており、広告主 (投稿者) 自身の外見への言及はもちろん、相手にも何らかの身体特徴や外見を求める傾向にあり、相手の人柄といった内面への言及は比較的少ないと述べている (Deaux and Hanna 1984, 365)。Cicerello and Sheehan (1995) では異性愛の男女のみを対象に163の事例を分析した結果、男女の差に同様の結果が得られたとする。

その一方で、Gonzales and Meyers (1993) は2,008件の個人広告分析から女性よりも男性が相手の容姿にこだわるということはないと結論づける。また Epel et al. (1996) では500件の事例で身体特徴に特化した研究を行い、レズビ

◇1　本稿はテキストマイニングという手法で計量的な分析を試みた。テキストマイニングとは「(膨大な) テキストデータをマイニング (発掘) し知見を得る手法・プロセスを指し」(上田 2008)、企業の顧客データ分析などに応用される。これは「文書内に記述された内容の傾向や特徴を把握することを目的」とする点で単なる分類技法とは性格が異なる (那須川 2006)。言語学の分野でのテキストマイニング自体の活用はそれほど活発ではないが、本稿で扱う投稿文を語と表現の側面から分析するという主旨からこの手法が最も適切であると考えた。また、テキストマイニングでは文の形態素解析 (意味を担う最小の単位に文を分割) を行い、その結果を利用するが、同じように形態素を扱う計量言語学的アプローチとは異なる。後者は語の出現、主に延べ語数と異なり語数を正確に把握することを目的とし、内容分析にまでは立ち入らない。MSMの出会い系掲示板を対象とした語彙調査については金城 (2010) を参照されたい。

◇2　コンピュータを介したコミュニケーション (CMC) を扱った研究には文脈の共有とフレーミングや集団極化現象 (湯浅 2006)、自己開示と印象形成の効果 (佐藤・吉田 2007)、電子掲示板上での議論 (山内・岡田 2006)、感情表現記号 (エモーティコン) の機能 (尹2008) などがある。海外の動向については *Journal of Computer-Mediated Communication* 誌上の諸論文を参照のこと。

アンは異性愛女性よりも体型表現の使用割合が低く、ゲイやアフリカ系アメリカ人男性は異性愛の男女やレズビアンよりも自らの体型への言及度合いが高いとしている。日本では小田(2000)が異性愛男女の結婚相手募集広告780件を分析しているが、上記研究とは異なり、男性よりもむしろ女性の方が相手の容姿にこだわるという結果が得られたとする。

個人広告の分析に言語学的な視点を取り入れたものとしてGroom and Pennebaker(2005)がある。彼らは1,586件のデータ分析から、ゲイの個人広告ではジェンダーに固有の表現(straight looking([見た目が]ノンケっぽい)やfeminine looking([見た目が]女っぽい)等)が異性愛者の広告よりも多く見られるとし、またゲイとレズビアンの個人広告でも異性愛の男女と同じようなパターンが見られたと結論づけている。

本研究は上記先行研究に比して十分な量の9,200件のデータを扱う。しかしながら本稿は異性愛者の個人広告との比較ではなく男性との出会いを求める男性の広告のみを扱うという点、ならびに長期に渡る交際相手の募集というよりは一過性の「出会い」についての投稿を対象としている点で上記先行研究とは異なる。

これに関連し、ここで本研究の対象としたデータについて触れておく。今回対象とした投稿文データは個人の(性的な)欲望を内容とするものであり、本来は容易には他人が知ることはできないという点で資料として価値の高いものであると考える。その一方で、データの信憑性という点では、その匿名性ゆえに、いたずらによる偽の情報が書き込まれる恐れ、収集データ中に同一投稿者による(同一文言の)投稿が複数含まれる可能性、また本来の主旨とは無関係な情報(宣伝の類に分類される投稿、出会いとは直接関係のない誹謗・中傷、投稿者が抱える悩みなど)が含まれる可能性がある。これら負の側面を認識した上で、本稿では無作為抽出したデータを、「出会い」の内容に限定せず、全て分析するという方法をとった。これは今回の研究では「出会い」の内容以外の情報をも含めた当該掲示板の包括的な姿を捉えることを主眼とするためである。この点でも本稿は先行研究と主旨を異にする。無論それによって上記指摘した信憑性の問題が全て克服されるわけではなく、偽の情報の書き込み等の問題点については今後の検討課題としたい。

3 研究方法

3-1 データ

今回の調査では沖縄地域の出会い系サイトX(2010年1月末のアクセス数12,143,291)の管理・運営者に協力を依頼した◇3。当該サイトには地域別のBBS掲示板が4、体型に特化した掲示板が1、年代(30代以上)に特化した掲示板が1、真面目な関係を望む「真面目掲示板」が1ある。その他「たずねびと」、「サークル募集」、「求人」、「リサイクル」、「画像」等、全体で13の掲示板がある。またチャットができる「チャットルーム」やいわゆる「発展場」等屋内施設の広告がある一方、ゲイナイト等のイベント告知、県内ゲイバーやSTD啓発関連サイトへのリンクも貼られている等複合的な構成となっている。本稿では上述の13の掲示板のうち、利用頻度の高い順に上位4つの掲示板(「南部掲示板」、「中部掲示板」、「太め掲示板」、「30代掲示板」)を対象として調査を行った。調査にあたっては過去ログとしてウェブ上で投稿文が参照可能な2008年11月1日から2009年10月31日までの1年間の全投稿を母集団とし、10分の1にあたる9,200件(「南部」4,729件、「中部」3,266件、「太め」785件、「30代」420件)を抽出した。分析にはKH Coderを用いた◇4 ◇5。

◇3　沖縄という地域の掲示板に着目したのには次のような理由による。第一に掲示板の管理・運営者に直接研究の主旨を説明し同意を得る必要があると考えたこと、第二に筆者の居住地が沖縄であることから管理・運営者へのアクセスが比較的容易であったためである。協力依頼に際しては情報の利用目的、情報の第三者提供、情報の開示について「個人情報取り扱い同意書」を作成し、文書にて同意を得た。

◇4　ウェブ上で参照できる過去ログ1ページ分には4ないし5件の投稿が収められており、全ての過去ログに番号が振られている。本文中で触れた無作為抽出では、コンピュータ上で発生させた乱数を過去ログ番号にあてはめ、該当する過去ログページに収められている投稿文を全て収集するという方法をとった。対象とした掲示板それぞれから1年分の約10%にあたるデータを抽出した。南部掲示板を例にとると、2008年11月1日午前0時40分付の過去ログ(549番)から2009年10月31日23時57分付けの過去ログ(10,026番)までの1年分の過去ログ9,478を母集団とし、その10分の1にあたる948の過去ログから4,729件のデータを収集した(他の3つの掲示板からのデータ収集も同様)。1件の投稿は投稿者名、タイトル、本文、プロフィール(身長・体重・年齢)から構成されているが、本稿では投稿タイトルと本文のみを扱う。

3-2　分 析

今回はデータの計量的分析を行うため、テキストマイニングでいうコーディングという手法をとった。コーディングを実行するルールをコーディングルールと呼び、分析者が任意に設定する。例えば「「フェラ」・「フェラチオ」・「しゃぶる」のいずれかの語が含まれればその文書に「口と性器の接触」というコードを与える」というコーディングルールを設定し、コーディングを行うことにより該当する投稿が抽出される。ここでは形態素解析によって得られた高頻度語に基づき大まかなコーディングルール（非性的・性的内容）を設定し、順次コーディングルールを追加しながら分類を細分化した。最終的に出会いの類型を17（性的・非性的出会い）、その他を2抽出した。

また、上述のように海外の研究では容姿への言及が取り上げられていることから、本稿ではこの点についてもコーディングを行った。さらに、最初の段階で抽出する特徴語は語の出現頻度が焦点となるが、それのみでは「表現」の部分までは踏み込めないため、最後に願望と間接要求表現に関する分析を行った◇6。

3-3　予 想

基本データ収集の段階でデータを概観し、以下の予想を立てた：

(1)「真面目掲示板」とその他の掲示板とでは内容の面で前者が真剣な交際相手を募るもの、後者が一過性の出会いというように「棲み分け」があると考えられる。先行研究では真剣な交際相手の募集が扱われているが、本稿で扱う「真面目でない」一過性の出会いの内容としては特に性的接触に関する内容が多い。

(2) 上記（1）に関連し、投稿文全体を特徴づける語には性的接触に関するものが多い。

(3) 先行研究で指摘されている容姿その他への言及については、容姿（「スト系」等）よりも体型を表す語（「スジ筋」等）が多くみられる（Epel et al. 1996）。容姿を表す語彙は主に20代を中心に使用されるため、年代を問わず使用される体型を表す語が多いと考える。

(4) エロティックな事柄を中心とする人の欲望に関わる事柄の表現形式としては「〜たい」や「〜欲しい」といった投稿者自身の願望表現と相手への要求表現「〜てもらう」や「〜てくれる」が多く見られる。

4　分析結果

4-1　年代別構成

9,200件の投稿の年代別構成は10代284件（3%）、20代3,959件（43%）、30代3,437件（37%）、40代415件（5%）、50代43件（0.5%）、不明1,062件（12%）であり、20代と30代が全体の約8割を占める。地域を特定せず30代より上の年代を対象とした30代掲示板を含めたことにより、30代の投稿数が性的に活発な20代を上回るのではないかと予想されたが、年間を通してそれほど30代掲示板への投稿数は多くなく、20代を下回る結果となった。

4-2　高頻出語

今回の分析によって得られた高頻度語（自立語のみ50位まで）は**表1**の通りである。事前の予想通り頻度順15位以内に限ってみると性的接触や役割に関する語が見られるものの（「しゃぶる」、「掘る」、「タチ」、「やる」）、上位50語全体としては、存在動詞（「いる」、「ある」）、往来動詞（「行く」、「来る」）、容姿・体型・身体特徴や部位（「短髪」、「体型」、「プロフ」、「太め」など）、場所（「那覇」、「公園」）といった性的接触そのものの表現ではない「出会い関連語」とでもいうべき語が見られた。

このような語の頻度はデータ中の特定の語の出現頻度を示すものであるが、

◇5　KH Coderは立命館大学の樋口耕一氏が開発したフリー・ソフトウェアである。今回の分析ではVersion 2.0.0.0を用いた。以下のURLより最新版が入手できる。http://khc.sourceforge.net/index.html.

◇6　本稿では願望表現と受益表現をとりあげたが、注目すべき表現には他にも使役「〜させる」や受動「〜される」などがある。これらについてもコーディングを行ったが、紙幅の都合で本論では省略した。また、本稿のタイトルに見られるような文末表現「っす」については金城（2009）が男性性の性資本の（擬似的）所有を表すものと指摘している。

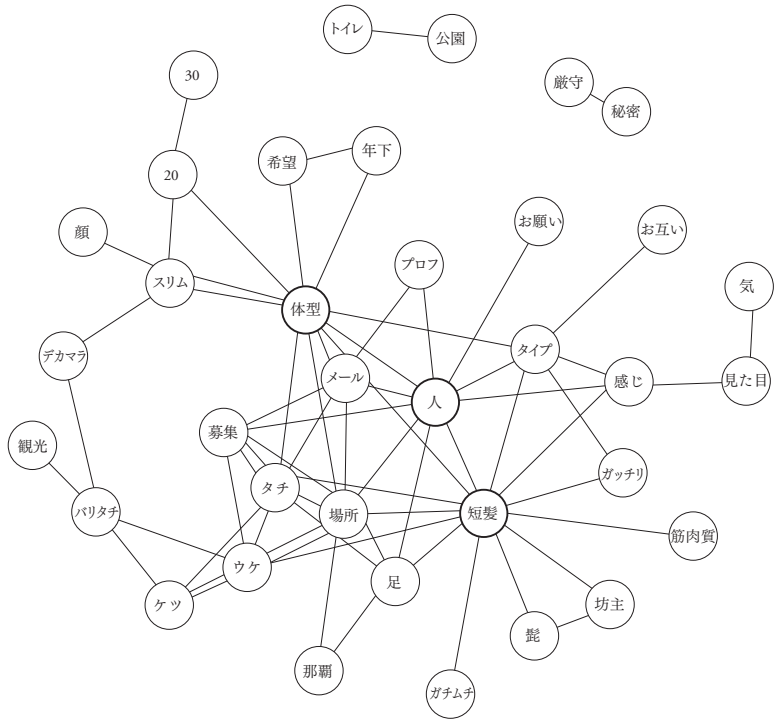
それのみでは互いの語の結びつき（同様のコンテクスト内で用いられるか否か）までは示せない。そこで次に、頻度200以上の名詞36語に絞り込んで名詞同士の共起関係を調べた（**図1**）◇7。この図からは図の中央付近に布置された「短髪」・「体型」・「人」という3つの語が他の語と強い共起関係を持つことが読み取れる。高頻度語第3位の「人」という語は、その頻度の高さから他の35語との共起関係が強い（最も多く他の語と線で結ばれるであろう）と考えられるが、実際にはそうではなく、頻度としては「人」よりも下位に位置する「短髪」（15位）と「体型」（18位）という語が布置された他の語との結びつきを多く持つ（「短髪」は13、「体型」は11）ことが明らかとなった。以下にデータ例を示す（表記は投稿文のまま。下線は筆者。括弧内はデータ番号。以下同様）：

表1　高頻出語50位まで（括弧内は異表現）

順位	語	投稿件数	出現頻度
1	いる（居る）	5,475 (440)	6,448 (490)
2	する	4,057	5,815
3	人	3,587	4,678
4	ある	1,587	1,794
5	メール	1,616	1,729
6	場所	1,605	1,667
7	できる（出来る）	1,507 (541)	1,600 (573)
8	今	1,416	1,519
9	しゃぶる	1,034	1,240
10	掘る	962	1,169
11	ない	1,038	1,143
12	タチ	964	1,066
13	やる	932	1,042
14	行く	861	1,000
15	短髪	894	981
16	いい	885	965
17	募集	854	964
18	体型	839	929
19	抜く	805	879
20	足	862	871
21	なる	792	860
22	これから	809	852
23	ウケ	764	831
24	那覇	775	826
25	普通	757	801
26	よろしく	759	767
27	タイプ	724	747
28	良い（よい）	696 (350)	727 (358)
29	軽い	644	676
30	お願い	633	674
31	合う	606	653
32	感じ	550	613
33	会える	584	599
34	プロフ	568	575
35	ケツ	500	572
36	年下	538	566
37	太め	502	539
38	来る	491	521
39	今日	475	509
40	希望	498	504
41	あり	481	499
42	好き	444	497
43	エロ	440	487
44	暇	426	474
45	笑	395	446
46	自分	417	443
47	筋肉質	411	436
48	デカマラ	394	431
49	20	413	426
50	公園	368	396

俺は30代ガチムチウケ、短髪、顎髭っす！ 年齢は上下いいっすが、男らしい普通〜ガチムチがタイプっす！ 足なし、場所なし。（507）

図1　高頻度名詞36語の共起関係



また、**表1**の高頻度語は互いに関連して用いられていることが**図1**の共起関係からも裏付けられ、これらが今回の抽出したデータ全体を特徴づける特徴語としての性格を持つことがわかる。

ここで高頻度語第3位にあげられた「人」という語について詳しく見てみよう。この語は語彙調査ではどのようなテクストにおいても高頻度語にあげられるものであるが、今回のデータでは以下に例示するように投稿者の希望する相手を描写する際に連体修飾語（節）を伴って用いられるケースが多かった：

最近してないので久しぶりにやりたいです。タチの人でよろしく。(329)
俺はノンケっぽく見られる短髪20代　同じような人メール下さい (386)
スポーツしてて引き締まってる人いないっすか？ (415)

さらに、同一文内での共起関係を調べた結果、「人」を修飾する連体修飾節に用いられる動詞句には一定の傾向があることが明らかとなった（**表2**参照）。コーパス分析において検出した語が文の中央に並ぶように文脈とともに示したものをコンコーダンスと言う。通常は語の前後の文脈双方が示されるが、**表2**では連体修飾のみを扱うため左側の文脈のみとした。ここで「左1」や「左2」等の見出しの下に頻度を示す数字が並んでいるが、これは文の統語関係を一旦保留にし、語同士の隣接関係に注目した場合に「人」という語のすぐ左隣（＝左1）や一語置いた次の左隣（＝左2）にどのような語が現れるかを表している。この表からは助詞・助動詞を除き、連体修飾語として形容詞や形容動詞などよりも可能動詞「できる・出来る」、受益表現の「～てくれる」、進行・状態を表す「～て（い）る」、可能動詞「会える」などがコロケーション（＝連語、例：「掘る」はコロケーションとして「穴」や「ケツ」といった名詞と共に「穴を掘る」や「ケツを掘る」という表現で用いられる）として「人」と高頻度で結びついていることがわかる：

サクッとぬきあいできる人こないかな。(456)
今からしゃぶってくれる人いないですか？ やり取り短めで会える人がいいです (492)
ヒゲ×　太ってる人× (545)

受益表現「～てくれる」については4-5-2の要求表現であらためて取り上げる。

4-3　出会いの類型

本稿では投稿者の求める出会いの型を非性的接触E0 ～ E5（Eは「出会い」(Encounter) の略）と性的接触S0 ～ S10（SはSexの略）に大別し、これに出会いとは無関係な「質問（Qと略記）」、「宣伝（Adと略記）」を加えた計19項目でコーディングを行った（ただし、1件の投稿中に上記の複数の内容が含まれるものもある）。

表2　高頻出語「人」とのコンコーダンス

	語	品詞	左合計	左5	左4	左3	左2	左1
1	の	助詞	1,231	64	90	95	27	955
2	だ	助動詞	832	132	106	117	36	441
3	くれる	動詞	468	14	13	16	9	416
4	できる	動詞	424	18	16	30	7	353
5	会える	動詞	328	14	14	19	5	276
6	てる	助動詞	411	49	37	26	86	213
7	ない	否定助動詞	274	32	33	18	11	180
8	出来る	動詞	223	15	10	17	8	173
9	たい	助動詞	260	43	39	15	15	148
10	行く	動詞	171	16	14	17	10	114
11	ある	動詞	223	24	12	9	71	107
12	若い	形容詞	115	3	8	4	0	100
13	やれる	動詞	115	10	7	6	1	91
14	っぽい	形容詞	113	21	2	12	9	69

◇7　線で結ばれている語同士は投稿文書中での共起関係が強いことを示すが、互いに隣接して布置されていても線で結ばれていないものは共起関係が弱い（樋口 2009）。Jaccard係数の算出については樋口（2009）や金（2009, 162）を参照のこと。

事前の予想通りS6（漠然とした性行為への言及）の内容の投稿件数が最も多く（3,098件、33.7%）、それにS3（肛門性交）（1,633件、17.8%）、S2（口と性器の接触）（1,570件、17.1%）、S1（性器の触れ合い）（1,496件、16.3%）が続く結果となった。また性的接触を目的としないE0（話やおしゃべり）の内容の投稿も当初の予想よりも多い（1,400件、15.2%）ことが分かった。次に紙面の都合上S6のデータ例のみ示す：

正月早々だが、盛るのはどこがいいかな　小柄でスリムがタイプだよ（704）

年代別の集計でも10代から40代までの各年代でS6（漠然とした性行為への言及）の内容の投稿が最も多かった。20代ではそれにS1（性器の触れ合い）（703件、17.8%）とE0（話やおしゃべり）（675件、17.1%）が続く。30代ではS3（肛門性交）（765件、22.3%）とS2（口と性器の接触）（725件、21.1%）、40代も30代と同様の結果であった（S3（130件、31.3%）、S2（111件、26.8%））。また、カイ2乗検定（年代不明を除く）の結果、有意水準0.05でE1（食事・カラオケ等）、E4（セックスフレンド募集）、S0（互いの自慰行為の見せあい）、S1（性器の触れ合い）、S8（屋外での露出行為）、Ad以外で年代と投稿数との間に関連が認められた。

4-4　容姿その他への言及

先行研究との比較のために自他に関してどのような語が使用されるかという観点から分析を行った。具体的には「容姿」（スト系、かっこいい等）、「体型」（スリム、ガッチリ等）、「髪型」（長髪、ソフモヒ等）、「体毛」（髭、胸毛等）、「身体部位」（顔、胸等）といった自他の身体特徴への言及の有無、また「年代」や「経験」（初心者等）の有無、「性格」（男らしい、真面目等）などへの言及の有無によってコーディングを行った。次に主要5項目のデータ例を示す（年代別の各項目への言及の頻度については**表4**を参照のこと）：

【容　姿】

こちらは……、スト系でノンケ風な短髪のスジ筋、バリウケっす！（1,768）

表3　年代別出会いの類型

分類	内　容	10代	20代	30代	40代	50代	不　明	合　計	カイ2乗値
E0	話やおしゃべりの希望等	53（18.7%）	675（17.1%）	514（15.0%）	52（12.5%）	6（14.0%）	100（9.4%）	1,400（15.2%）	11.40 *
E1	食事、カラオケ、ドライブの希望等	23（8.1%）	291（7.4%）	245（7.1%）	23（5.5%）	5（11.6%）	37（3.5%）	624（6.8%）	3.46
E2	銭湯や公園等へこれから向かう、集まろう等の呼びかけ	10（3.5%）	398（10.1%）	314（9.1%）	20（4.8%）	2（4.7%）	139（13.1%）	883（9.6%）	25.14 *
E3	友人や交際相手の募集	0（0.0%）	10（0.3%）	24（0.7%）	3（0.7%）	1（2.3%）	8（0.8%）	46（0.5%）	12.99 *
E4	セックスフレンドの募集	7（2.5%）	58（1.5%）	65（1.9%）	6（1.5%）	0（0.0%）	7（0.7%）	143（1.6%）	3.98
E5	メールでのやりとり希望	2（0.7%）	96（2.4%）	38（1.1%）	2（0.5%）	0（0.0%）	16（1.5%）	154（1.7%）	25.89 *
S0	互いの自慰行為の見せ合い希望等	23（8.1%）	268（6.8%）	258（7.5%）	32（7.7%）	4（9.3%）	93（8.8%）	678（7.4%）	2.37
S1	性器の触れ合い希望	45（15.9%）	703（17.8%）	557（16.2%）	84（20.2%）	3（7.0%）	104（9.8%）	1,496（16.3%）	9.45
S2	口と性器の接触希望	26（9.2%）	593（15.0%）	725（21.1%）	111（26.8%）	12（27.9%）	103（9.7%）	1,570（17.1%）	86.10 *
S3	肛門性交希望	22（7.8%）	630（15.9%）	765（22.3%）	130（31.3%）	8（18.6%）	78（7.3%）	1,633（17.8%）	112.01 *
S4	セーフセックス希望	5（1.8%）	72（1.8%）	125（3.6%）	40（9.6%）	0（0.0%）	19（1.8%）	261（2.8%）	90.20 *
S5	セーフではないセックス希望	0（0.0%）	34（0.9%）	58（1.7%）	23（5.5%）	2（4.7%）	9（0.9%）	126（1.4%）	67.49 *
S6	漠然とした性行為への言及	89（31.3%）	1,431（36.2%）	1,178（34.3%）	146（35.2%）	5（11.6%）	249（23.5%）	3,098（33.7%）	15.08 *
S7	SMやフィスティング等の希望	4（1.4%）	100（2.5%）	117（3.4%）	39（9.4%）	7（16.3%）	20（1.9%）	287（3.1%）	82.24 *
S8	屋外での露出行為希望等	0（0.0%）	48（1.2%）	56（1.6%）	3（0.7%）	1（2.3%）	10（0.9%）	118（1.3%）	8.10
S9	添い寝やいちゃつく行為の希望等	6（2.1%）	93（2.4%）	112（3.3%）	14（3.4%）	4（9.3%）	14（1.3%）	243（2.6%）	13.22 *
S10	援助交際希望	22（7.8%）	74（1.9%）	28（0.8%）	3（0.7%）	0（0.0%）	47（4.4%）	174（1.9%）	88.22 *
Q	情報収集のための質問	8（2.8%）	56（1.4%）	29（0.8%）	5（1.2%）	0（0.0%）	42（4.0%）	140（1.5%）	11.96 *
Ad	商品販売等の広告	1（0.4%）	6（0.2%）	3（0.1%）	0（0.0%）	0（0.0%）	24（2.3%）	34（0.4%）	2.40
	合　計	**284**	**3,959**	**3,437**	**415**	**43**	**1,062**	**9,200**	

* p＜.05

【髪型・体毛】

ミディアムショート無造作今風、女受け悪くない感じだよ。(5,868)

【身体部位】

デカマラ、アナル、脇を舐めまくって奉仕します。(75)

【年　代】

中年同士、またはオヤジ好きいないかな？ (3,505)

【体　型】

夕方からやれるスリム、ガリガリ、スジ筋なウケいない？ (698)

分析の結果、体型(3,071件、33.4%)をトップに身体部位(1,999件、21.7%)、年代(1,420件、15.4%)、髪型(1,249件、13.6%)の順となっている。事前の予想通り体型への言及(3,071件、33.4%)が容姿(1,022件、11.1%)を大幅に上回った。投稿の約8割を占める20代と30代を比較すると、30代の体型への言及(42.8%)が20代(27.5%)を上回っているが、容姿への言及については逆に20代(14.0%)が30代(9.8%)をわずかながら上回った。カイ2乗検定(年代不明を除く)の結果、有意水準0.05で髪型と性格以外の項目で年代と投稿数との間に関連が見られた。

次に言及の度合いが最も高かった体型について詳しく分析した結果、体型を表現する語が多く非常に細かく分類されていること、それも普通よりも大きい体型に関する語が多く見られるという点が明らかとなった。次に今回のデータに現れた語の一部を示す(括弧内は同一語の異表記)：

【普通体型以下】

ガリ、スジ、スリ筋、スリム、細い、細身、細め、痩せている等

【普通体型】

普通、筋肉質等

【普通体型以上】

固太り、ガチデブ、ガチ太(ガチブト)、ガチポ、ガチポチャ、ガチムチ(がちむち)、ガッシリ(がっしり)、ガッチビ、ガッチリ(がっちり)、巨漢、ゴツイ(ゴツぃ)、チビデブ、デブ(でぶ)、メタボ、等

表4　年代別容姿その他への言及

分類項目	10代	20代	30代	40代	50代	不　明	合　計	カイ2乗値
容　姿	35 (12.3%)	553 (14.0%)	338 (9.8%)	25 (6.0%)	2 (4.7%)	69 (6.50%)	1,022 (11.1%)	46.38 *
体　型	47 (16.6%)	1,088 (27.5%)	1,471 (42.8%)	218 (52.5%)	20 (46.5%)	227 (21.4%)	3,071 (33.4%)	291.51 *
髪　型	36 (12.7%)	574 (14.5%)	509 (14.8%)	52 (12.5%)	7 (16.3%)	71 (6.7%)	1,249 (13.6%)	2.44
体　毛	12 (4.2%)	181 (4.6%)	279 (8.1%)	58 (14.0%)	3 (7.0%)	26 (2.5%)	559 (6.1%)	79.02 *
身体部位	34 (12.0%)	701 (17.7%)	957 (27.8%)	149 (35.9%)	13 (30.2%)	145 (13.7%)	1,999 (21.7%)	168.88 *
年　代	34 (12.0%)	598 (15.1%)	580 (16.9%)	84 (20.2%)	19 (44.2%)	105 (9.9%)	1,420 (15.4%)	38.26 *
経　験	6 (2.1%)	40 (1.0%)	22 (0.6%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	12 (1.1%)	81 (0.9%)	10.60 *
性　格	21 (7.4%)	189 (4.8%)	205 (6.0%)	22 (5.3%)	1 (2.3%)	46 (4.3%)	484 (5.3%)	8.22
投稿件数	**284**	**3,959**	**3,437**	**415**	**43**	**1,062**	**9,200**	

* p＜.05

2節で触れたようにGroom and Pennebaker (2005) ではジェンダー固有の表現が見られたとされているが、本データでも同様の特徴が見られるであろうか。次に「男」・「女」というジェンダーを表す語について見てみる。「女」・「男」双方の語とも「(っ) ぽい」という助動詞と結びつき、件数は限られるものの、容姿に言及する際に「男っぽい」、「女っぽい」という形式で最も多く用いられていることが明らかとなった。これに「ノンケっぽい」と「普通っぽい」を加えて比較した**表5**を示す◇8。希望する相手への言及に関して「女っぽい」という表現が用いられているが、これは以下のデータ例のように、出現した89例全てが否定形であった：

見た目女っぽくない人、しゃぶり合い中心にやりませんか？ (2,808)

4-5　表現の類型（願望・要求表現）

次に表現形式の特徴として願望と要求表現を扱う。要求の発話行為は直接的にも間接的にもなされうるが、今回は直接要求の表現（「〜下さい（ください）」）の出現数が限られていた (45例) ため、本稿では間接要求表現を扱う◇9。Searle (1975, 72) は間接要求が成立する4つの要件を示し、そのいずれかに言及することで間接要求が成り立つとする。この要件の中でも次に示す誠実条件と命題内容条件が本稿で扱う間接要求に関連する (以下xは投稿者、yはxの希望する相手、Pは当該文に内包される命題内容を表すものとする。仲・無藤 (1983) も参照のこと)：

(1) 誠実条件：xはyによる行為Pを欲している。
(2) 命題内容条件：xはyがしてくれるであろうある行為Pを述べる。

表5　「〜っぽい」の比較

語　句	投稿者自身	希望する相手	合計
ノンケっぽい	40	62	102
女っぽい	3	89(否定形)	92
男っぽい	28	42	70
普通っぽい	5	14	19

4-5-1　願望表現「たい」・「ほしい」

一般的に話し手（書き手）の願望が強く表わされるのは助動詞「たい」や動詞「ほしい（欲しい）」などを用いた表現であると考えられる。今回収集したデータ中での「たい」の使用は3,220例 (35%)、「ほしい（欲しい）」の使用は435例 (4.7%)、合計で全体の約4割であった。そのうち、「〜たい人」や「〜たい奴」等、上記誠実条件への言及で相手の要求を先取りした表現が156例、「〜てほしい人」や「〜てほしい奴」等、同じく相手の要求を先取りした表現が23例あった：

俺に掘ってほしい奴いない！　ガンガンつくよ♂　でかいかな (288)

今夜気持ちよくヌキたいやついないか？　一方的でいいんでしゃぶりたいローションやフェラで寸止めで責めたい (1,510)

4-5-2　間接要求「〜てもらう」・「〜てくれる」

補助動詞「もらう」と「くれる」は他の動詞と結びつき、他者の行為が話し手（書き手）にとって益するものであるということを表す。この2つの受益表現は命題内容条件への言及となる。

分析の結果、「〜てもらう」は36例（そのうち、願望の「たい」を伴う「〜てもらいたい」は21例。これは誠実条件を満たす）であったのに対し、「〜てくれる」は1,195例と、対照的な用いられ方をしていることがわかった。

◇8　類似表現には「男らしい」(91例)、「男臭い（くさい）」(33例)、「雄臭い（くさい）」(8例)、「雄っぽい」(3例) がある。また、「っぽい」を使った表現には他にも「野郎っぽい」(9例)、「タチっぽい」(5例)、「Sっぽい」(3例) などが見られた。

◇9　熊取谷 (1995, 15-16) では「要求」ではなく「依頼」という用語を用いて「〜お願いします」が日本語の直接依頼表現として機能することを指摘している。本研究では「お願いします」の出現件数は674件と「〜下さい」を大きく上回ったが、「10〜20代のスリム〜普通体型の人居ますか？　見せ合い　触り合い抜き合いしよう〜ローションとかバイブも有るから使いたい人プロフィ付けてメール下さい。髭坊主男臭い人以外でお願いします。」(2,339) というデータが示すように、必ずしも「お願いします」が含まれる文のみで直接要求が成り立つのではなく（すなわちSearle (1969) の適切性条件が満たされておらず）、「〜下さい」の文などとともに用いられ、その文自体は付加的な「条件」を述べるという用例が目立った。

また、「〜てくれる」が「〜てくれる人」等のように対象人物描写で名詞の連体修飾となっているものが850例あった：

掘ってもらいたいです、ローションあるんで！（188）

淫乱なモードに入ってるんすけど（笑）筋肉質からガチムチな奴でチンポしゃべらせてくれる人いないっすか？（2,373）

5 考 察

本研究にあたり事前に4つの予想を立てた。予想（1）の性的接触内容が多いことと（3）の体型への言及が容姿を上回ることに関しては予想通りの結果が得られた。予想（2）では高頻出語の多くが性的接触に関するものであろうとしたが、実際には性的接触そのものに関する語は少ないという結果となった。これは上述のように性的接触そのものの描写が投稿の目的ではなく、出会いが主たる目的であり、それに付随する形でどのような人物とどのような出会いの形態を望むかということが述べられるためであろう。存在や往来動詞、体型や容姿、場所を表す語などが高頻度語に現れたことがそれを裏付けている。

予想（4）について、表現形式として「〜たい」や「ほしい」は全体の4割を占めるという結果であった。「〜たい」や「ほしい」は掲示板の閲覧者側に投稿者の欲望の強さを印象付ける効果を持つ。全体的に直接要求の表現「〜下さい（ください）」（45例）よりも間接的な要求表現が多用されていることを考えると、全体の4割という結果も予想を大幅に下回ったということはないと思われる。また間接的な表現という点からは、自らの状態を表現し、それに対して相手から何らかの働きかけを求める表現も見られた：

那覇で一人暮らし、ケツマンコ疼いてるんで、バリタチ来てくんねぇかな？（9,017）

受益表現「〜てもらう」と「〜てくれる」の対照的な用いられ方が明らかとなったが、この点について以下の作例をもとに検討する：

（作例1）　ケツにゴーヤーをぶっ込んでもらった。
（作例2）　ケツにゴーヤーをぶっ込んでくれた。

両者が同じ行為を描写するものとした場合、（作例1）では被動作主、すなわち「ぶっ込んでもらう者」と文の主語が一致するのに対し、（作例2）ではそうではないという文法的な相違がある。加えて、「〜てもらう」表現は単なる受益ではなく、「〜させると同時にその主語がその恩恵をこうむる」ものであり、「主語におかれた人物が意志的に事態を引き起こそうとする場合」に用いられる（庵 他 2000, 112）という相違がある。「〜てくれる」の使用例が「〜てもらう」を大きく上回ったのは、やはりそこに「使役（〜させる）」の含意があり、投稿閲覧者に高圧的な印象を与えかねないため、使用が控えられたと考えられる。

次に先行研究との関わりで本稿の結果について考察を加える。Deaux and Hanna（1984）では男性同性愛者ではセクシュアリティに関わる表現の多用、男性性の強調、自身や相手の外見への言及の度合いといった点で特徴が見られるとされていた。セクシュアリティに関わるものとしては、何よりも男性同士の性的接触の表現が多く、それは当初の予想通り性的接触の相手を求める内容の投稿が多いという結果に反映されていた。さらに行為描写の動詞を見てみると、高頻度語上位50語の中には12の動詞が含まれるが、そのうち、性的接触を示唆する（表す）動詞には以下のものがある：

「出来る」（7位）・「しゃぶる」（9位）・「掘る」（10位）・「やる」（13位）・「抜く」（19位）

あらためてこの5つの動詞を見てみると、男性同性愛というセクシュアリティに固有の表現というものは「掘る」だけであることがわかる。補助動詞「合う」（31位）と合わせて複合動詞が表す行為としては、「抜き合う」（1,036例、「抜く」の使用例中53%）が最も多く、「見せ合う」（151例）、「しゃぶり合う」（122例）となっているが、「〜合う」として相互行為を表す表現としては「しゃぶる」

と「抜く」も男性同性愛に特有の表現となるであろう。

Groom and Pennebaker (2005) で指摘のあった男性性の強調、それに関連するジェンダー固有の表現では、「男」・「女」という語の使用に特徴が見られた。同じジェンダーの者同士の出会いの掲示板であるということが前提となっているため、特に「女」や「男」という語を用いて表現する事柄はないように思われたが、実際には「男っぽい」・「女っぽい」として用いられていること、「女っぽい」は希望する相手を表現する場合には否定形で用いられることを見た。この2つに「普通っぽい」を加え、これらが語用論でいうスカラー述語として〈普通っぽい、女っぽい、男っぽい〉のようにスケールを成すとすると、「男っぽい」と述べることで「普通っぽい」と「女っぽい」の否定、すなわち「普通ではない（それ以上である）」や「女っぽくない」というスケール含意が生じると考えられる (Levinson 1983, 133) ◇10。

一方、「ノンケ」というセクシュアリティを表現する語も、上述のように男性同士の出会いという前提からはデータ中に出現が予測されない語である。「ノンケ」は男性同士の出会い掲示板を利用せず、また投稿者が次のデータのように「ノンケ」を募集しても「ノンケ」は定義上異性愛者であり、興味本位での閲覧や冷やかし・いたずらなどはあるであろうが、基本的にこのような掲示板を出会い目的で利用することはないと考えられるためである◇11：

> この掲示板みてるノンケているのかな？　もしいたら会ってみたい!! (466)

しかしこの語も「っぽい」と結びつき、（どのような属性を指すのかはあいまいであるが）「ノンケっぽい」として、また「ノンケ風」・「ノンケみたいな」・「ノンケな感じ」等の表現で用いられ (117例)、全体の総数からするとわずかではあるがセクシュアリティの異なる者が持つ属性に価値を認める者がいることがうかがわれる。これは希望する相手ばかりではなく投稿者自身を描写する際にも用いられる：

> あんま時間ないけど抜き合いしたいな。見た目ノンケぽいっす　似た感じの若い人おねがいします (5,136)

次に、先行研究同様、本稿でも容姿その他への言及があり、体型への言及が33.4％と、それほど高い割合であるとは言えないという結果となった。しかし身体部位や容姿、髪型、年代よりも体型への言及が最も多く、その一方で性格への言及が約1割にとどまったことを考えると、やはり希望する相手の内面よりは外見を重視する傾向があるということは言えるであろう。また、上述したように普通体型以上の体型を表す語彙が豊富であることが明らかとなった。「太め掲示板」の投稿数はデータ全体の8.5％であるため、この結果は体型に特化した「太め掲示板」の影響であるとは考えにくい。これは自他の体型に非常に強い関心があることの表れであり、このように細分化しなければ投稿者が表現したいと考えるものが表現できないということであると思われる。

6 今後の課題

本研究では真剣に交際相手を求める掲示板の内容分析やそれと対象とした掲示板との比較ができなかった。真剣な交際相手との出会いを望む掲示板に

◇10　語用論では発話の文字通りの意味以外にそこに含まれる含意（言外の意味）を扱うが、ここでのスケールは同じ文法範疇に属する対照的な表現から構成され、情報量や意味に応じて線上に並べられたものを指す。仮にe1とe2という述語が〈e1, e2〉というスケールを成す場合、e2と述べることでe1の否定が含意として成り立つと考えられる。例えば、「熱い」と「温かい」は〈熱い、温かい〉というスケールを成し、「このコーヒーは温かい」という発話は「このコーヒーは熱くない」という含意を持つとされる。

◇11　本文中では「ノンケ」からの投稿は予測されないとしたが、今回収集したデータ中には次のような投稿も見られた：「サしてください自分ノンケです短髪じゃないし普通体型です　よろしくお願いします」(8,939)。「サ」とは「サポート（＝援助）」の略で、この投稿は援助交際希望の内容となっているが、ここで注意すべきは自身がノンケであるにもかかわらず、金銭目的であるならば異なるセクシュアリティの者との性的接触も可能であるということを示唆している点と、「ノンケである」ということが相手を惹きつける属性（性資本）となっている点である。翻ってこのケースとは逆に同性愛者が異性愛者の出会い系掲示板に援助交際希望であるとして同様の広告を掲載することがあるかと考えると、その可能性はかなり低いと言わねばならない。ここに「ノンケ（っぽい）」は性資本として機能するが、「ホモ（っぽい）」は異性愛者に対しその機能を担わないという非対称的な関係がある。

おいては今回明らかになったような性的接触への言及の度合いは低いと思われるが、容姿・体型・性格などへの言及という点では興味深い結果が得られるかもしれない。また、本稿では出会い系掲示板の全体像を明らかにするということでサンプリングによって得られたデータを全て分析するという方法をとったが、Groom and Pennebaker（2005）が行っているように、真剣に交際相手を求める投稿を対象とする場合はデータ収集の段階で出会いとは無関係な投稿内容を除き、出会いに焦点を合わせたデータ抽出が必要となろう。また将来的には国内の諸地域同士の掲示板の比較や首都圏と地域の掲示板との比較へと進展させたい。容姿その他への言及と表現の類型で投稿者自身の言及か相手への言及かという点で分析が不十分になってしまった点は否めない。こういった点をさらに詳細に分析し、研究を発展させたいと考える。

参考文献

Cicerello, Antoinette, and Eugene P. Sheehan. 1995. Personal advertisements: A content analysis. *Journal of Social Behavior and Personality* 10(4): 751-756.

Deaux, Kay, and Randel Hanna. 1984. Courtship in the personals column: The influence of gender and sexual orientation. *Sex Roles* 11(5/6): 363-375.

Epel, Elissa S., A. Spanakos, J. Kasl-Godley, and K. D. Brownell. 1996. Body shape ideals across gender, sexual orientation, socioeconomic status, race, and age in personal advertisements. *International Journal of Eating Disorders* 19(3): 265-273.

Gonzales, Marti H., and Sarah A. Meyers. 1993. “Your mother would like me”: Self-presentation in the personal ads of heterosexual and homosexual men and women. *Personality and Social Psychology Bulletin* 19(2): 131-142.

Groom, Carla J., and James W. Pennebaker. 2005. The language of love: Sex, sexual orientation and language use in online personal advertisements. *Sex Roles* 52(7/8): 447-461.

樋口耕一. 2009.「KH Coder 2.x リファレンス・マニュアル」http://khc.sourceforge.net/dl.html.

庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘. 2000.『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク.

金明哲. 2009.『テキストデータの統計科学入門』岩波書店.

金城克哉. 2009.「MSM出会い系掲示板における文末表現「っす」の用法について」『Southern Review』24: 85-89.

――― . 2010.「インターネット上の出会い系掲示板を対象とした基礎的語彙調査」『琉球大学 欧米文化論集』54: 1-21.

熊取谷哲夫. 1995.「発話行為理論から見た依頼表現：発話行為から談話行動へ」『日本語学』14: 12-21.

Levinson, Stephen C. 1983. *Pragmatics.* Cambridge: Cambridge University Press.

仲真紀子・無藤隆. 1983.「間接的要求の理解における文脈の効果」『教育心理学研究』31(3): 10-17.

那須川哲哉. 2006.『テキストマイニングを使う技術／作る技術』東京電機大学出版局.

小田亮. 2000.「日本人における配偶相手の好みにみられる性差：結婚相手募集広告の分析から」『日本研究』22: 131-140.

佐藤広英・吉田富二雄. 2007.「CMCが自己開示および印象形成に及ぼす効果」『筑波大学心理学研究』34: 37-43.

Searle, John R. 1969. *Speech acts: An essay in the philosophy of language*. Cambridge: Cambridge University Press.

――― .1975. Indirect speech act. In *Syntax and semantics*, vol.3, edited by P. Cole, and J. L. Morgan. New York: Academic Press.

上田太一郎（監修）. 2008.『事例で学ぶテキストマイニング』共立出版.

山内保典・岡田猛. 2006.「電子掲示板における科学コミュニケーションの可能性」『科学技術社会論研究』4: 101-116.

湯浅晃. 2006.「文脈による電子コミュニケーション支援に関する研究」『電子情報通信学会技術研究報告』106 (52): 19-24.

尹祥漢. 2008.「CMCにおける感情表現記号の機能に関する考察」『国文學攷』200: 15-29.